

# ファルコナー議長ペーパー（第2弾）に関する評価

平成19年6月  
農林水産省

## 1. 総論

第2弾の議長ペーパーは、第1弾のペーパーでカバーされなかった論点を取り上げており、議長が考える着地点を示し、最終的にテキストを作成するという意図は理解。

途上国の関心事項が網羅されている点は評価するが、それぞれの項目は時間切れなどと指摘しており、それを求めている側からすれば不十分とするのではないかと認識。

我が国の関心事項である緑の政策は基本的に維持されることとなっており評価。

特に、多くの点で問題はないが、農産物に着目して無税無枠の供与を求めているという問題。

## 2. 主な個別論

### 1. 途上国向け特別セーフ・ガード（SSM）について

SSMについては、重力の中心を定めるためには多くの問題があると指摘しており、いくつかの提案がなされているものの、明確な方向性はない。

### 2. 熱帯産品及び麻薬代替品について

輸入国に自己選択の余地を残していることについては評価。

### 3. 緑の政策について

緑の政策については、基本的な枠組みを維持している点を評価。

### 4. 後発開発途上国（LDC）について

LDC無税無枠について、農産物の少なくとも97%を実施期間の最初の年から供与されることに言及しているが、香港宣言はあくまで工業品を含めた全LDC産品の少なくとも97%を無税無枠にすることを求めているものであり、それ以上の提案を行っていることは問題。

### 5. その他

タリフエスカレーション、関税簡素化については、輸入国が実施可能な柔軟な選択肢を示しており評価。

地理的表示について、何も付け加えることはないとしている点について、これを強く求めているEUが反発する可能性。